

環境省

リユースモデル事業について

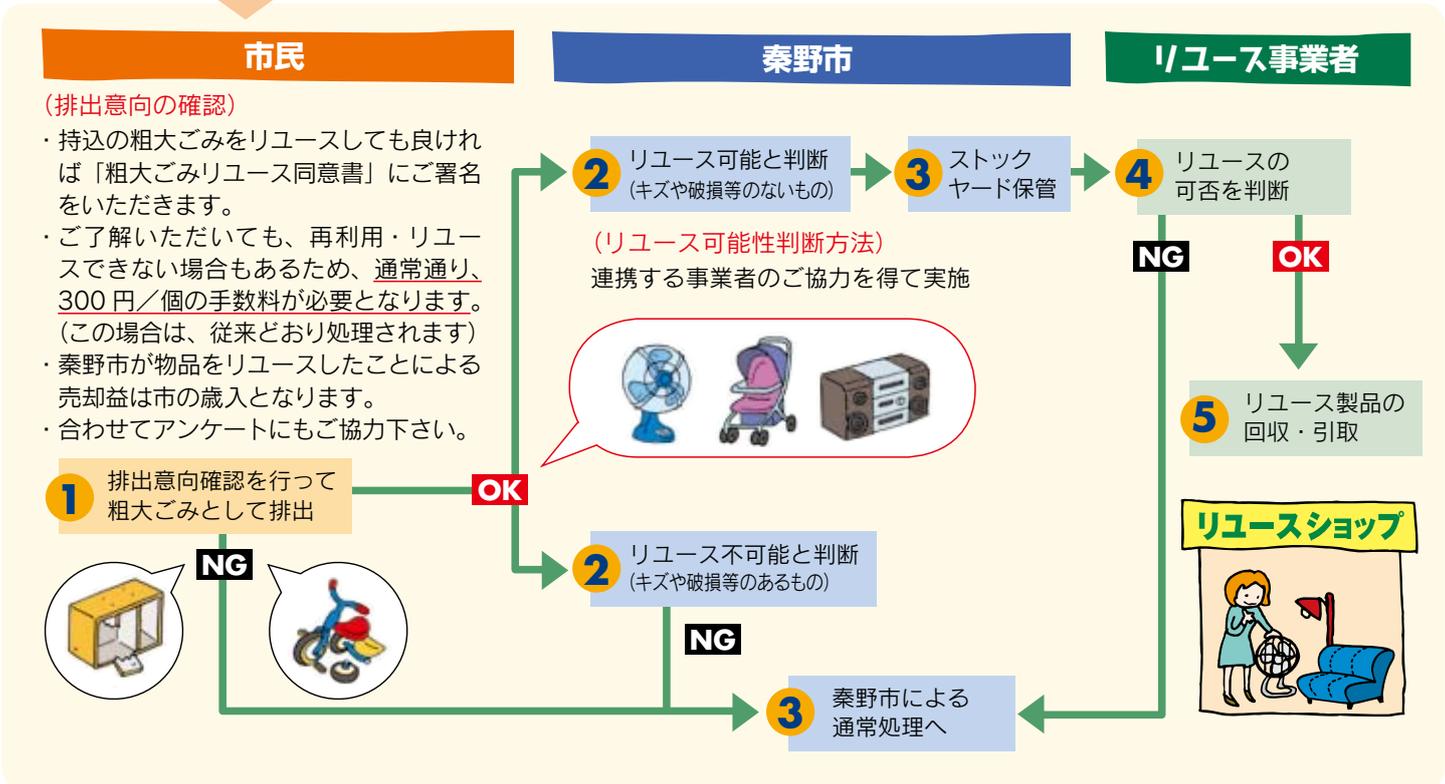
秦野市は“リユース（再利用）”をすすめています

【期間限定】
平成23年12月
平成24年2月

粗大ごみのうち、再使用可能なものをリユースします！



市民の方が清掃事務所に自己搬入した粗大ごみのうち、まだ製品として使えるものをリユース事業者の方に引き渡します。ごみとして排出されていたものが、再使用され有効に利用されます。
※粗大ごみを持ち込む際に、キズや破損等に気をつけていただくとリユースされる可能性が高まります。



※本モデル事業では、日本リユース業協会の会員企業「オフハウス / ガレージオフ / ホビーオフ秦野店」にご協力をいただいております。

秦野市は
環境省リユース
モデル事業に
選ばれました！

秦野市では、ごみ減量をすすめています。ごみ減量の取り組みの一環としてリユースを進めており、この度、秦野市は環境省のリユースモデル事業に選ばれました。皆さんが出した粗大ごみの中からリユースできる製品を選んで、リユース事業者に引き渡しています。ごみ減量と市のごみ処理費の削減に繋がります。

※本ちらしは、環境省がリユースに関する様々な取り組みの活性化を図るため、市町村とリユース業者との連携によるリユースの実証事業の1つとして作成されたものです。(モデル事業の期間は平成23年12月～平成24年2月までとなっております。)
※本ちらしは、トライアル期間に配布しており、今後修正する可能性があります。

3R(スリーアール)って何?

大量生産・大量消費・大量廃棄のライフスタイルは、処理しきれないほどのごみを生み出しました。このような「使い捨て型社会」から脱し、「循環型社会」に変えていく必要があります。例えば、家庭ごみの中には未開封の食品やリサイクルできる紙、まだ着られる洋服・使える電化製品などが混入しています。これらのごみを減量することが地球環境への負荷の低減に繋がります。

リデュース Reduce

ごみも資源ももともと減らす

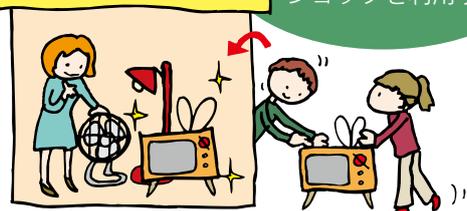


- ごみになるものを買わない・もらわない
- 長く使える製品を買う

リユース Reuse

くりかえし使う

リユースショップ



■環境にもお財布にもやさしいリユースショップを利用する。

■リターナブル容器(ビールびんのように販売店で回収し専門業者で洗って再使用する容器)のものを買う。



リサイクル Recycle

資源として再び利用する



- 資源として分別する。
- リサイクルされた製品を買う。

お問い合わせ先

秦野市では、3Rを推進するために不用品交換制度も実施しております。ごみと資源の分け方・出し方については、下記のホームページもご参照下さい。

秦野市役所 清掃事務所

☎ 0463-82-9619 FAX 0463-82-5391

秦野市のホームページ <http://navi.city.hadano.kanagawa.jp/seisou/index.html>

環境省「使用済製品等のリユース促進事業」の紹介

使用済製品の3R(リデュース、リユース、リサイクル)のうち、リサイクルについては、一定程度進展しつつある一方で、廃棄物の減量化(リデュース、リユース)については、より一層の促進が必要であり、特に、リユースについては、昨今の経済状況の変化により、新しい市場として注目を浴びています。

これを踏まえ、環境省はリユースに関する様々な取組の活性化を図るため、今後のリユース推進に向けた課題や支援策を検討しています。(ウェブページ URL: <http://www.env.go.jp/recycle/circul/reuse/index.html>)

環境省事業は、以下のリユース業界団体に協力をいただいております。下記の3つの団体はリユース業界の全国的な組織として、優良化事業者の認定、電子マニフェストシステムの構築などに取り組んでいます。

■ JRCA (ジャパン・リサイクル・アソシエーション)

HP: <http://www.jrca-net.or.jp/index.html>

■ JRO (日本リユース機構)

HP: <http://www.jro.or.jp/>

■ JRAA (日本リユース業協会)

HP: <http://www.re-use.jp/>